

久斗山地区公民館だより

令和8年
9月号

8月27日発行

久斗山地区公民館

【ご挨拶】 7月28日、午後4時17分に熊本県で最大震度7の地震が発生しました。熊本では10年前にも大きな地震が発生しており、今回再び大きな災害に見舞われたことになり、猛暑の中で被災者の苦しみは計り知れないと思います。8月になり、お盆の最中に千葉県は記録的な豪雨に見舞われ、こちらも大きな被害が出ました。いずれの被災された地域の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。この夏の日本列島は最高気温が40℃を越える酷暑となり、地球温暖化なんて悠長なことを言っているレベルでは無いと感じました。地球全体が悲鳴を上げています。それなのに愚かな人類は諍いを止めようとしません。世界の人々が手を取り合い、地球のことを真剣に考えるべきです。

【避暑地、上高地と焼岳】 上高地は長野県松本市の梓川上流にあります。ここは標高1,500mあり、夏は涼しく、多くの観光客が訪れます。特に梓川に架かる河童橋は有名です。中部山岳国立公園に指定されており、穂高連峰や槍ヶ岳の登山基地にもなっています。7月25日、「加藤文太郎山の会」主催による遠征登山で、上高地と焼岳(標高2,444m)に登ってきました。焼岳は活火山で、山頂付近は硫黄や水蒸気が噴出する噴気孔があり、岩に手を触れると温かったです。噴火の危険レベルが低い今が登山できるチャンスでした。日帰り登山で、その夜は諸寄出身の篠原懺然の縁がある岐阜県平湯温泉に宿泊しました。槍ヶ岳北鎌尾根は加藤文太郎が遭難した場所であり、今回の遠征は新温泉町の先人を偲ぶ、とても良い旅でした。



上高地、梓川に架かる河童橋と穂高の山々（丸杵は焼岳、南峰。令和8年7月25日）

【暑い夏は川遊びが最高！】

猛暑の夏はなんと言っても水遊びが最高です。先月は海だったので、今月の久斗山自然教室は「川遊び＆生き物観察＆魚取り」ということで、8月8日に開催しました。他の行事が重なったりして参加者は13人でしたが、元気のいい子ども達は水の冷たさをものともしません。開会早々に網を持って川に入りました。さっそく体長12cm以上あるアカザの成魚が捕まり、カワムツやカジカ、ドンコといったお馴染みの魚や、トビケラやカワゲラの仲間、コオニヤンマのやご、ヘビトンボの幼虫などの水性昆虫、保護者がデカイモクズガニを3匹も捕まえてくれました。生き物は水槽や観察ケースに入れてじっくり観察しました。アカザには8本も髭があります。生き物の解説の後は休憩タイム。川で冷やしておいたスイカで西瓜割りして、美味しくいただきました。後は終了時間まで川遊び。水をかけあってはしゃぎまくり、全身水に浸かってました。梅雨明けから雨がほとんど降らず、川の水もかなり少ない状態ですが、清流の生き物達は健在でした。子ども達も川遊びを満喫しました。



カワムツ



コオニヤンマのやご

アカザの口の周りには8本の髭がある



川の生き物採集 デカイモクズガニをゲット

【「青い鳥学級」久斗山で開催】

7月29日、香美町と新温泉町合同の青い鳥学級の皆さんが久斗山を訪れ、お昼はジビエカレー、午後は久斗川に入って水の冷たさを体感しました。青い鳥学級は目の不自由な人とボランティアが支え合って活動している団体です。



【夏休みの一日は朝のラジオ体操から始まる】

7月21日より夏休みのラジオ体操が始まりました。これまでは久斗山で実施していましたが、今年は境のふれあいセンター前で行います。午前6時半、両地区の子ども達と保護者も加わり、元気いっぱい体を動かして体操します。頑張って、猛暑の夏を乗り越えよう！



【8月は差別をなくす町民運動推進月間】

8月3日、たそがれコンサートが多目的ホールで開催され、その後で街頭啓発活動として各地区に幟旗が設置されました。境は村中橋に、久斗山はふれあいセンター前に立ててあります。28日の夜は人権学習会です。ご参加、お待ちしております。



【「河川愛護」で草刈り作業】

8月2日、午前6時半より久斗山の村人総出で河川の草刈り作業が行われました。村の上からつづらい橋まで、延長900mの久斗川沿いの草を刈ります。河川だけでなく、旧小学校や薬師堂、西ノ谷の地藏堂の周辺なども手分けして草刈りしました。早朝の涼しい内に作業を終えることができ、お疲れ様でした。



【旧久斗山小学校にお化け集合】

8月9日の夜、「戦慄の廃校」と題して境・久斗山青推協主催の肝試し大会が開催されました。暗くなる前からお化け役の保護者が準備、開始と共に泣く子や途中で泣けやが続出、異様な盛り上がりでした。お化け含め総勢60人以上が夜の廃校に集い、大盛況でした。



【初盆供養で故人を偲ぶ】

8月14日、今年も公民館の体育館に祭壇を祀り、初盆供養をしました。今年は3人の故人が初盆でした。午後1時半から準備して、夜の7時ごろには次々とお参りに訪れる人があり、線香を手向けていただきました。お盆で帰郷して久しぶりに出会う人もあり、しばし、祭壇の前で会話が弾んでいました。



○令和8年 9月の行事

- 1日(火) 新温泉町内小・中学校 二学期始業式
- 12日(土) 久斗山自然教室「夜の鳴く虫と夜行性の生き物観察会」(18:00~21:00 久斗山地区公民館)
- 17日(木) 「シワガラの滝トレッキング」(9:00~15:00 上山高原エコミュージアム)
- 17日(木)~18日(金) 浜坂東小学校 修学旅行
- 24日(木) 「霧ヶ滝トレッキング ~秘境の溪谷！上空にイワツは現れるか！~」(9:00~15:00 上山高原エコミュージアム)



秋の秘境へ挑戦！
桂の滝トレッキング
上級者向け

開催日 令和8年 10月4日(日)
上級者向け 定員 10名(先着順)

桂の滝
険しい山の背を歩き、秘境桂の滝へ

スケジュール(予定)
9:00 受付(ふるさと館)
9:30 ふるさと館 出発
10:00~14:00 桂の滝トレッキング(自然観察・休憩含む)
14:30頃 ふるさと館 解散

※参加費 大人 2,500円 小・中学生 1,000円
※定員 先着10名

申込・問合せ NPO法人 上山高原エコミュージアム TEL. 0796-99-4600 FAX. 0796-99-4601

ハヤシノウマオイ ♀
雄は翅をこすり合わせて鳴き声を発すが、雌は鳴かない。

四季の久斗山生物だより
ハヤシノウマオイ (バッタ類)
子どもの頃にお盆になると、夜、縁側の開けた戸から家の中に入ってきて「ちよん、ぎうす」と鳴く虫がいました。それが、この虫です。名前の由来は、鳴き声が馬を追う声に似ているからだとされています。この虫が鳴き出すと夏の終わりを感ずる感じがします。

かつてに昔話 第五話 蜘蛛が好き！
白い封筒に入った八木沼博士からの手紙の内容は、写真やスケッチを吟味した結果、ムツトゲイセキグモでほぼ間違いのないことでした。このクモはこれまでの採集例が少なく、十頭も獲れていないと、兵庫県での記録は初めてであること。最後に、蜘蛛学会には高校生でも入会できるので、ぜひ会員になってほしいと綴られていました。手紙を読んだ、一気に有頂天になりました。ムツトゲイセキグモはアモ学者が一生に一度出会うことができるかどうかとさえ言われたほど珍しいクモでした。現在でも珍蛛であることに変わりはありません。その後、夜間の生態を観察すると、糸の先に粘球の玉を着けて餌の蛾が近づくと振り回して捕らえる行動が明らかになり、授け「綱グモ」の一種であることが判明しました。

浜坂高校生物部は当時、共同研究でトゲウオ科のイトヨという魚の生態を研究していました。イトヨは十センチほどの小さな淡水魚で、背に三本、腹に一对の棘があります。繁殖期の雄は背が青く腹側が赤い婚姻色が現れ、縄張り行動をするようになります。さの巣を作り、卵で腹が大きくなつた雌を呼び寄せて巣の中に産卵させ、雄はその後卵が孵化するまで水を送ったりして世話をする保護する珍しい行動が見られます。一年で一生を終えますが、稚魚は海に下って、次の年の春に川に遡ってきます。

三年生が部活を退き、部長になった私は、秋の文化祭に備えて共同研究をまとめる合間にクモを採集しませんでした。(つづく)